

STEP 5 連続で捕獲する

- シカ生息密度や餌付具合等によりますが、同じ植栽地周辺で同時に複数頭捕獲することや、同じ場所で連続して捕獲することも可能です。

- ・ 捕獲事例 約380mの防護柵沿い6地点にワナを設置
3地点で同時に捕獲

2017年11月7日

♂ (体重48kg)

♀ (体重42kg)

♀ (体重36kg)



同一地点での2日連続捕獲

2017年11月8日

♀ (体重19kg) 捕獲



2017年11月9日

♂ (体重20kg) 捕獲



台風や捕獲の継続等によりシカの出現頻度が低下する場合があります。その場合も餌付けを続けることで再度出現頻度が高まり、シカを捕獲し続けることができたケースもありますが、シカの出現を確認出来ないような状況であれば、捕獲場所を変えたほうが良いケースもあります。

STEP 6 処理方法

- 捕獲したシカが暴れないよう保定具や、ロープ等を使用し、シカが暴れて事故にならないよう狩猟者の安全を確保してから、止め刺しを行う。
止め刺しの方法には、電気式の止め刺し、刃物による止め刺し、銃による止め刺し等があります。

専用の保定具やロープ等でシカが暴れないよう保定する



電気式の止め刺し

電気ショッカー使用中



保定具

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」第18条により、止め刺し後は、捕獲した場所に放置してはならないと定められていますので、捕獲後は適正に処理して下さい。

■ 止め刺し後の処理例

- 埋設場所まで運搬する。
ソリに乗せ捕獲場所から埋設地まで運んでいる



STEP 6 処理方法

- 埋設処理する（場所については土地所有者等から事前に了解を得ておいて下さい。）

